

01.

No.81 \*

# Wamt Bulletin



wakayama association of medical technologists  
letter



第25回  
学術部合同  
研修会開催

2026

About us

- \* 新理事紹介
- \* 令和7年度和臨技  
オリエンテーション
- \* 令和7年度和臨技  
定時総会
- \* 第25回学術部  
合同研修会
- \* 受賞関連
- \* 災害フォーラム
- \* 検査と健康展
- \* 学術部紹介



Prepared by  
WAMT secretariat

発行所  
一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会  
〒640-8153 和歌山市十二番丁45  
済生会和歌山病院 診療技術部 臨床検査科内  
和歌山県臨床検査技師会 事務局 久保 光史  
TEL 073-424-9805 FAX 073-424-9806  
URL <http://www.waringi@saiseikai-wakayama.jp>  
E-MAIL: [warningi@saiseikai-wakayama.jp](mailto:warningi@saiseikai-wakayama.jp)  
発行人 田中 規仁  
担当編集 葛原 和紀 竹家 正人



## ＊新理事紹介（順不同）



和歌山県立医科  
大学附属病院

関根 敏和

＊会員の皆様へ

和歌山県立医科大学附属病院中央検査部生理機能検査室所属、関根敏勝と申します。ものづくりや工作を得意としておりますので、各種イベントや催し物で作成したいものがあれば、作成やアイデアだしでも協力させていただきますのでよろしくお願いいたします。一生懸命和歌山県臨床検査技師会の理事としてこれから頑張っていきたいと思っておりますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

＊最近気になっている事

長く続けている趣味の釣りなのですが、海上釣り堀へ暇を見つければ、通っておりますが、この頃は物価高の影響を受けて利用料金も高く、なかなか釣りにも行けません。もう少し物価が下がってくればと思います。



海南  
医療センター

竹家 正人

＊会員の皆様へ

この度、地区理事を担当させて頂くことになりました、海南医療センターの竹家と申します。技師会に入会して約30年が経過していますが、技師会の役員をさせて頂くにあたり、責務の重さを痛感しています。諸先輩方が古くから築き上げ、継続して発展を遂げている当会を今後に繋げていける様、微力ではありますが尽力していく所存でございます。よろしくお願いいたします。

＊最近気になっている事

昨今、医療業界の先行きの暗い話をよく耳にします。医療業界が診療報酬の引き上げを願う一方で、社会保障費の削減の為に病床数を減らすといった案も出たりしています。将来的に臨床検査を含めた医療業界は、患者さんとの健全な需要と供給バランスを継続していけるのか最近特に気になっています。



くしもと  
町立病院

亀井 聡

＊会員の皆様へ

和臨技会員の皆様、くしもと町立病院の亀井です。紀南より南だと紀北の活動に遠方で参加出来ない会員が多いですが、WEB開催が増えたことで参加しやすい環境が出来たことは良いことだと思っています。コミュニケーション担当ということで、何をすれば良いのかまだわかっておりませんが、気軽に交流出来るように、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

＊最近気になっている事

各個人のスキルアップとワークライフバランスです。業務時間内に出来ることが限られている中で、どのようにして各自に行ってもらえるのかなど、他施設でどうされているのか気になります。



和歌山県立医科  
大学附属病院

松下 裕

＊会員の皆様へ

はじめまして、和歌山県立医科大学附属病院の松下裕（マツシタユウ）と申します。この度は和歌山県臨床検査技師会の理事を拝命いたしました。担当は災害対策をさせていただきます。災害フォーラムやボランティア活動のできる技師の育成講習会を企画していきます。たくさんの方々にご参加いただけるように務めます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

＊最近気になっている事

「あの大屋根リングってどうなるの？」です。大屋根リングはEXPO2025大阪・関西万博のシンボルで、最大の木造建築物としてギネス世界記録に認定されたそうです。私も見にいきました。圧巻でした。残すの？壊すの？

会員の皆様  
よろしくお願いいたします！ ＊

03.

令和7年4月12日   
済生会和歌山病院 7階講堂

## 令和7年度 和臨技オリエンテーション



令和7年度オリエンテーションでは技師会活動についての紹介や学術部ミニレクチャーが行われました。

新人の皆様、ご参加ありがとうございました！

学術部 ミニレクチャー



道津 正輝技師 杉野 翔太技師



技師会では公益活動・学術活動を通して会員相互の繋がりや会員サポート、社会貢献を実現してまいります。皆様の技師会活動へのご参加・ご支援よろしくお願ひします！

令和7年6月7日  
済生会和歌山病院 7階講堂

## 令和7年度 一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会 定時総会

済生会和歌山病院において、令和7年度一般社団法人和歌山県臨床検査技師会定時総会が執り行われました。令和6年度事業経過報告、令和6年度収支決算報告・監査報告、令和7年度事業計画、令和7年度予算案、和臨技増員役員選任案が審議・承認されました。



### 和臨技表彰

左から  
会長賞 山本 真衣技師 (紀南病院)  
学術奨励賞 南 熊野技師 (新宮市立医療センター)  
新人賞 齊木 恭技師 (和歌山県立医科大学附属病院)

Congratulations!

### 永年勤続者表彰

和歌山県臨床検査技師会 在籍25年  
辻田 愛技師 他4名



新理事を迎え一同、  
会務に一層取り組んで参ります！





## 第25回学術部合同研修会

### 1日目 症例検討会



血液検査部門  
海南医療センター  
新田 紗代 技師



症例検討ではグループワークを行い、出題された症例についての検討を行いました。自分とは異なる考え方や、他施設の検査室の様子など伺うことができ有意義でした。

検討後に各班で発表を行い、検討した結果を共有し症例の知見を深めました。症例検討を通じて検査の知見を深められ、他施設の技師と交流を深めることができ非常に有意義でした。



生理機能検査部門  
紀南病院  
西 謙輔 技師

### 2日目 臨床検査×わくわくプロジェクト



『臨床検査技師キャリアはわくわくが一杯』  
(通称：りんわくボード)



参加者がボードゲームを通じキャリアデザインについて考える機会となり、自身の将来について考えるとともに参加者間で共有し多く情報を得ることが出来ました。(様々な臨床検査技師の在り方を窺い知ることができました)



講師 医療法人社団  
永生会 永生総合研究所  
神戸 翼 所長

参加者54名

たくさんのご参加ありがとうございました！



日技連青年部



青年部メンバー募集中！



# 05. 意見交換会



しっかり楽しみましょう！



神戸先生もご参加されました！



LIVENED UP! 大いに懇親を深めました！



Fire Works



ビンゴ大会!

學術班の皆様  
ありがとうございました！



たくさんのご参加ありがとうございました！

## 日臨技 地域貢献賞（近畿支部）

和歌山県立医科大学附属病院 神藤 洋次技師



令和7年度 定時総会（ステーションコンファレンス川崎において）

この度は、地域貢献賞を賜りまして誠にありがとうございます。ひとえに和歌山県臨床検査技師会の皆様並びに諸先輩方のご指導の賜物であると心より御礼申し上げます。

私は、和臨技の会誌発刊担当から始まり、会務や研修会の実務を通して、技師会の仕事をご教示いただけるようになり、2度の日臨技近畿支部医学検査学会では事務局長、実行委員長として携わり世代を超えた多くの方と出会い、共に活動できたことは私にとって大きな財産となっております。

今後は、会務や研修会の実務を教える立場として後進に伝えるとともに、魅力ある研修会を企画し、地域医療や公衆衛生の向上に寄与できるように、微力ではありますが尽力してまいります。最後に、今回の受賞にあたり推薦の労をお取りいただきました日臨技、近畿圏支部の方々、そして和歌山県臨床検査技師会の皆様、私を支えていただきました職場の皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 和歌山県保健衛生（医事）功労者表彰

日本赤十字社和歌山医療センター 森下 陽子技師

この度、令和7年度 和歌山県保健衛生（医事）功労者表彰を賜りました。

このような栄えある表彰を頂戴できましたのは、和歌山県臨床検査技師会の諸先輩方をはじめ会員の皆さまのご指導とご鞭撻の賜物であり心より深謝申し上げます。

表彰式の厳かな雰囲気の中、私は緊張しながらも臨床検査技師として今日まで活動を続けてこられた喜びを改めて感じ、またこの表彰に恥じぬよう今後も一層精進してまいろうと心に刻みました。

最後になりましたが、推薦を賜りました会長をはじめ理事の皆さま方に厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。

有田市立病院 山本 須美子技師

令和7年11月17日（月）ホテルアパローム紀の国において、和歌山県知事より「令和7年度 和歌山県保健衛生（医事）功労者表彰」を拝受いたしました。

このような表彰をいただけたのは、ご多忙のなかご臨席くださいました田中会長をはじめ、和歌山県臨床検査技師会の役員ならびに会員の皆様のご指導ご鞭撻のおかげと深く感謝しております。

式典当日は田中会長に多くの写真を撮っていただき、緊張も和らぎ良い思い出となりました。ありがとうございました。

また推薦状を作成していただきました久保事務局長ありがとうございました。

今後も微力ながら尽力して参りますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



森下技師 宮崎知事 山本技師



Congratulation to the awards!



07.

・開催日：令和7年12月6日(土)  
・会場：済生会和歌山病院 7F講堂



## 和臨技災害フォーラム 2025



『南海トラフ地震を見据えた臨床検査技師の役割』  
～多職種を交えた体制作りのご紹介～

森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床検査学科  
大学院 保健医療学研究科  
小宮山 恭弘 先生



和臨技災害フォーラムは、地震や風水害など、近年多発する自然災害に対して、私たち臨床検査技師ができることを考え、いざという時にどのように対応するべきかを学ぶために開催されます。

小宮山先生の講演では DiaMAT(糖尿病患者支援を目的とした災害医療チーム)の発足の背景、被災地での糖尿病支援の重要性や具体例、災害時の検査技師の役割を学びました。災害時には糖尿病患者支援とともに、臨床検査技師が簡易検査・ポータブル機器を活用して医師を支援する役割が重要であること、食事・運動・衛生面の工夫も含め、地域連携体制の強化が求められていることを知りました。今回のフォーラムでは災害時は「通常の医療」が通用しないため、柔軟な代替手段を知っておくことが重要であり、臨床検査技師も患者の命を守るチームの一員として支援に関わることができ、平時からの備えが、災害時の対応力につながるとわかりました。臨床検査技師も災害医療における支援の一助を担える存在であり、このような臨床検査技師を育成できるような企画もしていく必要があると感じました。

「令和6年能登半島地震における日赤救護班としての活動報告」  
～南海トラフ地震に備える～

日本赤十字社和歌山医療センター 検査部 山崎 一馬 先生



山崎先生の講演では臨床検査技師であり、医療従事者として日赤救護班での役割について、能登半島地震での活動についてご講演いただきました。活動内容としては、救護所設営、巡回診療、感染症検査、避難所インフラの確認、患者情報の記録、心理的支援等、多様多岐である。また南海トラフへの備えとして、能登半島地震と共通する課題や和歌山でできる備えについても学ぶことができた。日常生活の中での備えが、災害時の行動や救える命に直結すると考えられた。

技師会では本フォーラムやボランティア活動のできる技師の育成講習会など災害関連の研修会を開催しております、ぜひご参加ください！



# 検査と健康展

【開催テーマ】臨床検査技師に興味を持って病気の予防と早期発見に努めよう！

今年度の「検査と健康展」では、例年の「白衣試着体験」「乳房触診体験」「臨床検査と検査項目の説明・パネル展示」「臨床検査技師養成学校のパンフレット設置」「頸動脈エコー体験」「顕微鏡体験(血液像・細胞診)」「認知症に関するポスター掲示」「みんな知ってる？臨床検査技師のしごと DVD 上映」に加えて、初めて、「AED 模型体験」「物忘れタブレット体験」を実施しました。施設に買い物に来られた方や、会場の隣りにあるスポーツクラブにはお子様の体操クラブや水泳教室等があり多くの親子連れが興味を持って来場してくれました。ご年配の方も多く来場いただき、特に超音波検査や物忘れタブレットに興味を持ってくれました。



その結果、昨年を上回る 164 名の方々に来場いただく事が出来ました。AED 模型体験では、「テレビで見た事あるけど、実際にやってみたかったんよ」との声が聞かれ、私たち医療従事者と違い、一般市民の方々は研修や体験できる場があまりない事にも気づき、良い機会となったのではないかと感じました。アンケートには「子供が興味を持って良かったです」や「体験する事で臨床検査技師の仕事がよくわかりました」などのご意見を頂きました。また、「検査を受ける大切さを痛感しました」など来場頂いた方々には少なからず臨床検査技師の仕事と検査の重要性を認識して頂けたのではないかと思います。また、信愛高校の生徒さん 4 人組が午前の授業を終えてから「学校に貼ってあるポスターを見て来ました」と来場し、会場のどのブースにも興味深く見入ってくれた事に嬉しく思いました。その他にも「毎年やってるんだって？来年も是非来たいわ」と嬉しいお声を頂戴する事もできました。パームシティオークワさんはじめ、ご協力頂いた機器メーカー様、一緒に頑張ってくれた実務委員の皆様へ感謝申し上げます。

# 学術部紹介



## 学術部役員

左から

日本赤十字社和歌山医療センター 竹中 美賀子  
 紀南病院 大前 嘉良（学術部長）  
 和歌山県立医科大学附属病院 和田 哲  
 和歌山県立医科大学附属病院 田淵 圭佑



## 大前学術部長

私個人のモットーである「学びを深め、つながりを広げる学術活動」を目処に取り組んで参ります。

## ①和臨技、日臨技（全国、近畿支部） 学術活動への参画



各種勉強会・和歌山県医学検査学会

## ④会誌の発行



## ②研修会の開催



合同研修会

## ③精度管理事業の推進



精度管理報告会

## 会員の皆様へ

学術部では、各専門分野の学術班研修会や一泊二日の合同研修会を通して、会員の知見と技術の向上、そして分野や世代を超えた交流の促進と学びの深化を図っています。いずれの企画も、日常業務に直結する知識と技術の習得を目標としています。会員の皆様の積極的なご参加が、和臨技全体の力となります。ぜひご参加いただき、ともに成長していきましょう。

## 生理検査班

### 生理検査班のモットー

生理検査班は「ともに学び、ともに高める生理機能検査」をモットーに活動をしております。  
 私たちが日々向き合う生理検査は、患者さんの状態を“今この瞬間”に最も近いカタチで捉える重要な検査です。その精度と価値を支えているのは、技師一人ひとりの知識と技術、そして学び続ける姿勢と考えています。研修会では、互いに学び合い、気づきを共有し、検査の質をさらに高めていくことを目指しております。知識を深め、技術を磨くことで、より確かな検査を届けられると思っております。  
 私たちはこれからも、専門性を磨き、たくさんの方々に貢献できる技師として歩みを進めていきます。



来年度も様々な研修会を企画しておりますので、どうぞご参加いただけますよう、よろしくお願い致します。また、私たちと一緒に技師会活動を行っていただけるメンバーも募集しています。少しでもご興味のある方は、研修会などでお声がけいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



左から

和歌山県立医科大学附属病院  
 日本赤十字社和歌山医療センター  
 和歌山県立医科大学附属病院  
 紀南病院  
 日本赤十字社和歌山医療センター

中塚 賢一技師  
 嶋 清志技師  
 松下 裕技師（班長）  
 西 謙輔技師  
 湯川 有加技師



講師を招聘してのオンサイト研修会



次期メンバーも  
 よろしく願います！



## 微生物検査班

### 微生物検査班の活動

微生物検査には様々な検査項目があり、主なものとしてグラム染色などの塗抹鏡検、培養同定および薬剤感受性検査などがありますが、近年では病原遺伝子検査なども普及してきております。検体となる材料や関与する微生物の種類も多岐にわたるため、覚えておくべき知識が多種多様となっているのが特徴です。さらに耐性菌を主とした院内感染対策や抗菌薬適性使用などのチーム医療にも関与するため、多職種と連携できる幅広くかつ深い知見が求められております。微生物検査外注施設においても、このようなチーム医療の知識が求められることがあるため、お困りになることも少なくないのではないのでしょうか。そのため、微生物検査班では、微生物検査の知識や技術の基礎からの見直し、標準化や精度管理、検査技術や機器のアップデートなどの最新情報はもちろんのこと、県内の耐性菌状況の情報共有や、チーム医療に必要な知識や情報を得られる場として、幅広い内容の研修会を企画して開催しております。数多くの方に参加いただきたいため、基本的には現地+WEBのハイブリッド開催を実施しております。



当日はお休み  
でした🙏



第3回ハイブリッド勉強会

### 班員紹介

左から		
和歌山県立医科大学附属病院	齋木	恭技師
紀南病院	杉野	翔太技師
公立那賀病院	口広	智一技師
(班長)		
済生会和歌山病院	中松	純一技師
日本赤十字社和歌山医療センター	中尾	歩美技師

### 微生物班のモットーは「和」です。

うまく結果が出ずに菌種同定ができなかったり、見たことがないような菌種や耐性菌が検出されたとき、相談できる相手があると大変心強いですよね。困ったときに県内の施設でお互いに相談ができたり、情報共有ができるような関係の構築が、正しい検査結果を得るために重要なツールの1つであると考えております。知識や技術のアップデートはもちろん重要ですが、それに加えて和のコミュニケーション関係を深めて連携力を高めていくことが、和歌山県内全体のレベルアップにつながるものと考えております。研修会終了後は現地参加された方で懇親会を開催し、色々な情報交換や和の関係を構築できる場を設けております。県内の多くの微生物検査担当者が参加されておりますので、新たに微生物担当になられた方や、微生物検査以外でもICTやASTに関与されているかたも、いつでも遠慮なくご参加いただけますと幸いです。班員一同皆様のご参加をお待ちしております。

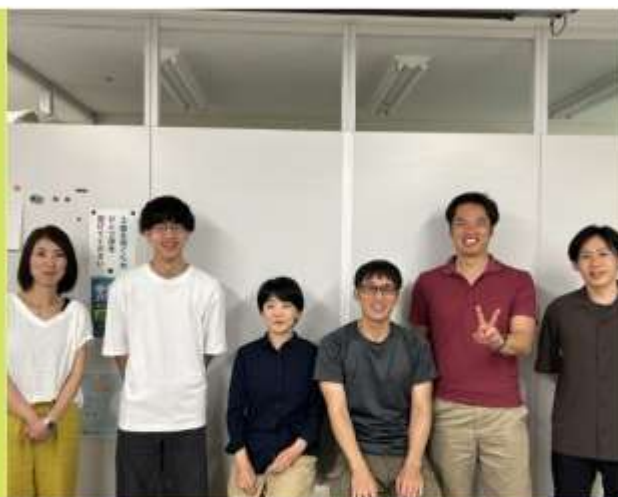


## 血液検査班

### 血液検査班の活動

血液班では血算・凝固線溶・形態（主に血液像・骨髓像）・FCMを主なテーマとして扱っています。原理などの基礎から症例提示といった応用まで幅広くカバーできるよう取り組んでいます。近年では顕微鏡実習も積極的に開催することで、基本的な観察手法を学んだり、自施設ではなかなか経験できない症例を肌で体験してもらえよう企画しています。県内の検査室におけるスキルの底上げになるよう班員一同取り組んでいます。 「こんなテーマを取り扱って欲しい」などのご希望があればお近くの班員までお声掛けください。

2026年度は、春に25年度サーベイのフォロー目的の研修会、夏には少人数制の顕微鏡実習、時期は未定ですが破碎赤血球や溶血性貧血などをテーマにした研修会を企画中です。 会員の皆様の更なるご参加をお待ちしています。



### 班員紹介

左から  
 海南医療センター 新田 紗代技師  
 和歌山ろうさい病院 衣奈 諒亮技師  
 紀南病院 小山 明日美技師  
 和歌山県立医科大学附属病院 箕浦 直人技師  
 日本赤十字社和歌山医療センター 水谷 陽介技師  
 （班長）  
 新宮市立医療センター 南 熊野技師



顕微鏡実習及びディスカッション



次号（No. 82）では学術班（病理・細胞検査、一般検査、生化学・免疫検査、総合管理、輸血）のご紹介と第44回和歌山県医学検査学会の様子などをご紹介いたします。